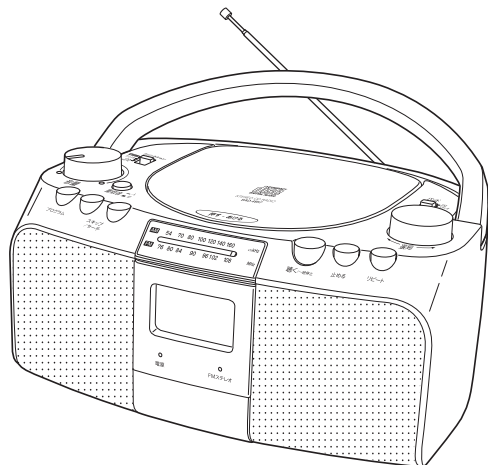


取扱説明書 (保証書付)

このたびはコイズミCDラジオをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。商品を安全に正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

なお、この取扱説明書には保証書が付いています。お読みになられたあとも、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。



目次

安全上のご注意	1~3
ご使用になる前に	4
CDについて	4
結露について	4
各部のなまえ	5
電源について	6
家庭用電源で使うには	6
乾電池で使うには	6
CDを聴く	7~9
ディスプレイの表示について	8
リピート演奏	8
プログラム演奏	9
ラジオを聴く	10
設置場所について	10

外部音声機器を聴く	11
市販のヘッドホン/イヤホンで聴く	11
お手入れのしかた	12
本体のお手入れ	12
レンズのお手入れ	12
仕様	13
故障かな?と思われるときは	14
アフターサービスについて	17
お客様の個人情報のお取り扱いについて	17
保証・無料修理規定	18
保証書	19
お客様相談窓口	19

安全上のご注意

- *ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- *ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの



注意

誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性があるもの

絵表示例と絵表示の意味



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

※お読みになられた後は、お使いになる方がいつも見られるところに必ず保管してください。

警告



煙や異臭、異音が出たり、落下や破損したときは本体の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜く

そのまま使用すると、事故の原因となります。必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。



本体内部に異物や水などが入った場合は、本体の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜く

そのまま使用すると、事故の原因となります。必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。



本体内部に金属物や燃えやすいものを入れない
事故や故障の原因となります。

電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)使用しない

火災・感電の原因となります。



風呂場では使用しない

火災・感電の原因となります。



表示された電源電圧(AC100V)以外の電圧で使用しない(日本国内専用)

火災・感電の原因となります。

本体の通風孔、CDの挿入口などから金属類や燃えやすいものなどを差し込んだりしない

お子様のいるご家庭ではご注意ください。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、束ねて使用したり、引っ張ったり、加熱したりしない

電源コードが破損して火災・感電の原因となります。

電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードが本体の下敷きにならないようにする

電源コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。

電源コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。



雷が鳴ったら、機器の金属部や電源プラグに触れない また屋外で使用しない

落雷や誘電雷により感電・やけど・機器の焼損の原因となります。

使用しているときはすぐに機器から離れてください。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



改造はしない 修理技術者以外の人は分解したり修理をしない

事故やケガの原因となります。修理はお買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。



電源プラグは清潔にする 刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は拭き取る

ショート・火災の原因となります。

安全上のご注意

⚠️ 注意

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。

油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

異常に温度が高くなる場所に置かない

本体の変形・変質・火災・故障の原因となることがあります。異常に温度が高くなる場所、直射日光の当たる高温の場所（自動車内など）には置かないでください。



電源コードを熱器具に近付けない

電源コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

レーザー光線をのぞき込まない（CD部）

レーザー光が目当たると視力障害を起こすことがあります。

指定以外の乾電池、新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない

乾電池の破裂・液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない

乾電池の破損・液もれにより、火災・ケガの原因となることがあります。

テレビ、オーディオ機器等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する
接続は指定のコードを使用する

乾電池のプラス・マイナスは正しく入れる

乾電池の発熱・破裂・液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池は幼児の手の届かないところに保管する
万一飲み込んだ場合にはただちに医師とご相談ください。

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。



旅行などで長期間、ご使用にならないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いておく

火災の原因となることがあります。

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行う

感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

移動させる場合は、本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行う

接続コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

長時間使用しないときや家庭用電源で使用するとき、乾電池を取り出ししておく

乾電池の液もれで回路がショートし、火災・ケガ・汚損の原因となることがあります。

持ち運びするときは、アンテナをたたむ

伸ばしたまま持ち運びするとアンテナが引っかかったり、当たるなどしてケガの原因となることがあります。

幼児がCD挿入口に、手を入れないように注意する

ケガの原因となることがあります。

ご使用になる前に

ご注意

● 次のような場所では使用・保管しないでください。

- 直射日光を浴びる場所や暖房器具のそば。
- ちりやほこりなどの多い場所。
- 風呂場など湿気の多い場所。
- テレビやチューナーなどのそば。

雑音や画像の乱れが起こる場合があります。できるだけ離すか、同時使用を避けてください。

● 温度が低い環境で操作されると、まれにCDドアの開閉動作が遅くスムーズでない場合があります。

その場合は、あたたかい場所に移動し、しばらくしてから使用してください。


● キャッシュカードや定期券などの磁気カード類、録音テープ、時計などを近づけないでください。

● レンズにほこりやつかないように、使用しないときは、CDドアを開けておいてください。またレンズにはさわらないようにしてください。

● 本体の分解・改造は絶対にしないでください。

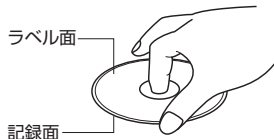
CDについて

CDの種類

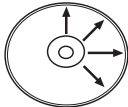
-  マークの入ったディスクをご使用ください。
- CD-R/RWの場合は、CD-DA(Compact Disc Audio)フォーマットで記憶されたディスク(ファイナライズされたもの※)を再生することができます。ただし、ディスクおよび記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。
※音楽用CD-R/RW再生対応機器で再生できるように処理すること。
- コピーコントロールCDやCD規格外の特形状ディスクを使用される場合、再生・音質の保証はしかねます。

CDの取り扱い

※記録面に触れないように、CDの端を持ってください。



※CDに指紋や汚れが付いたときは、やわらかい布などで、中心から端へと拭き取ってください。



※記録面やラベル面に、紙やテープなどを貼らないでください。またラベルがはがれたCDは使用しないでください。



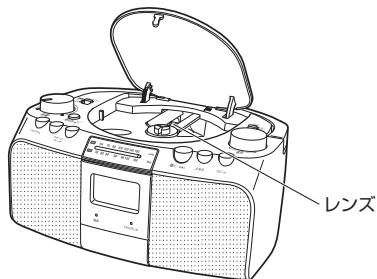
ご注意

円形以外(ハート型など特形状)のディスク、ひびやそりのあるディスクは絶対に使用しないでください。

結露について

周辺の温度が急激に変化した場合、レンズが結露することがあります。レンズに水滴がついた状態では正しく演奏できません。

このような場合、電源を入れ、CDドアを開けたまま約1~2時間たってから使用を開始してください。



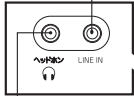
- 地震・雷・風水害などの天災、および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書(本書)の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。

各部のなまえ

本体

「LINE IN」端子

外部音声機器と市販の接続コード(φ3.5mmステレオミニプラグ)をつなぎます。(P. 11参照)



「ヘッドホン」端子

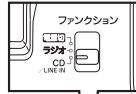
市販のヘッドホン/イヤホン(φ3.5mmステレオミニプラグ)をつなぎます。(P. 11参照)

「プログラム」ボタン

「スキップ/サーチ」(◀▶)ボタン

ディスプレイ

「ファンクション」スイッチ (CD / LINE IN / ラジオ / 電源切)



「重低音」ボタン (入/切)

「音量」ダイヤル (大/小)

ロッドアンテナ

ハンドル

CDドア開閉部(押す-あける)

「バンド」スイッチ (AM/FM/FMステレオ)



「選局」ダイヤル

「リピート」ボタン

「止める(■)」ボタン

「聴く/一時停止(▶||)」ボタン

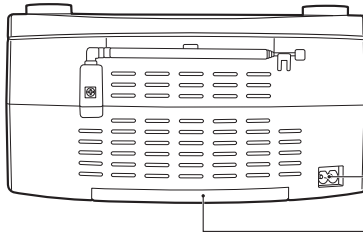
選局目盛

スピーカー

「電源」ランプ

「FMステレオ」ランプ

背面



「AC IN」端子

付属の電源コードをつなぎます。(P. 6参照)

電池ぶた

付属品

※以下の付属品が同梱されていることを確認してください。



電源コード



取扱説明書(本書:保証書付)

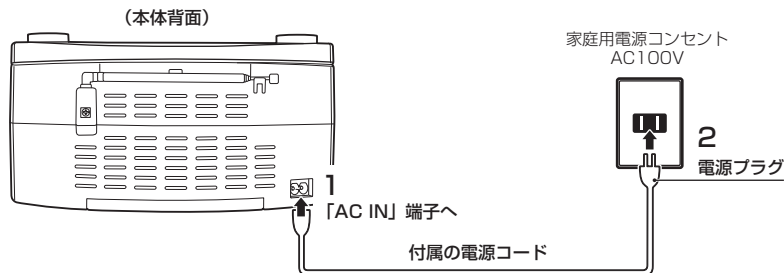
電源について

家庭用電源で使うには

1. 電源コードの供給プラグを本体の「AC IN」端子へ差し込む。

2. 電源プラグをコンセントへ差し込む。

- 「ファンクション」スイッチが【電源切】になっていることを確認してください。



※付属の電源コードは、SAD-4705専用です。
他の製品には使用しないでください。

ご注意

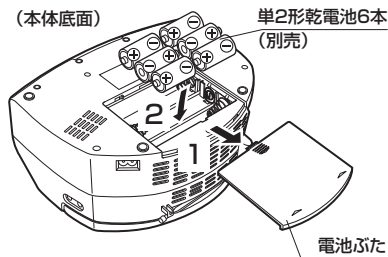
- 電源コードを抜き差しするときは、「ファンクション」スイッチを【電源切】にしてから行ってください。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いてください。
感電やショートして発火することがあります。
- 電源コードの上に重いものをのせないでください。
電源コードに傷がついて、火災や感電の原因となります。

乾電池で使うには

※乾電池で使用するときは、電源コードの供給プラグを本体の「AC IN」端子から抜いてください。
電源コードが差し込まれていると乾電池で使用できません。

1. 電池ぶたを開ける。

2. 単2形アルカリ乾電池6本(別売)を右図のように入れ、電池ぶたを閉める。



ご注意

乾電池の破損・液もれ防止のために次のことはお守りください。

- 長時間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。
- 使い切った乾電池はすぐに取り出し、分別廃棄してください。
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
- 火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしないでください。

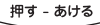
乾電池の交換目安

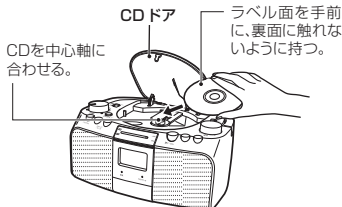
乾電池が消耗してくると、CDが正常に動作しない、音が小さくなる、雑音が多くなるなどの現象が生じます。
このようなときは、新しい乾電池と交換してください。

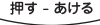
CDを聴く

1. 「ファンクション」スイッチを[]にする。

- 「電源」ランプが点灯します。

2.  を押してCDドアを開け、CDをセットする。



3.  を押さえて、CDドアを閉める。

- CDドアを「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。
- ディスプレイに総曲数が表示されます。

4.  を押す。

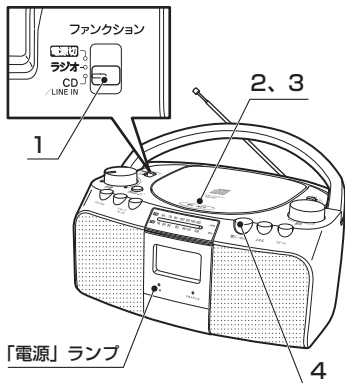
聴く/一時停止

- 1曲目から演奏が始まります。
 - 全曲演奏が終わると自動停止します。
- ※CD-R/RWに記録されたCD、コピーガード付きのCDは再生できない場合があります。



ご注意

- CDドアを開けるときは、ハンドルをたたくでください。
- CDドア内部にCDレンズ保護シートがはめられています。ご使用前に保護シートを取り外してください。
- 演奏中・一時停止中、またはCDをセットしてCDドアを閉じた直後に、CDドアを開けないでください。CDに傷がつく恐れがあります。




音量を調節する



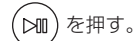
「音量」ダイヤルを回す。

演奏を止める



 を押す。

一時停止する

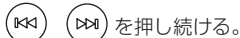


- 演奏に戻るにはもう一度押す。

<ディスプレイ>



演奏中/一時停止中に

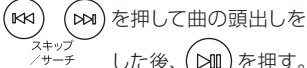


- 演奏に戻るにはボタンから指を離す。

演奏中/一時停止中に





停止中に



した後、 を押す。

聴く/一時停止

 ...演奏中の曲の次の曲番の頭出しになります。

 ...演奏中の曲の頭出しになります。2回押すと演奏中の前の曲の頭出しになります。

早送りする
早戻しする

 ...早送りになります。

 ...早戻しになります。

ディスプレイの表示について

ディスプレイに「No cd」が表示される場合、以下の項目を確認してください。


- CDが正しくセットされていますか？
- CDの裏表を間違えていませんか？
- レンズが汚れていませんか？(P. 12参照)
- CDが汚れたり、傷ついていませんか？
- 使用できないCDを挿入していませんか？(P. 4参照)

ご注意

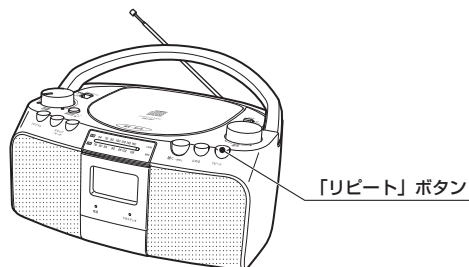
- 本機は、CD-R/RW録音機器で作成した音楽用CD-R/RWディスクの再生も可能です。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。
- CD-R/RWを入れた場合、演奏できる状態になるまで10秒前後かかります。
- コピーガード付きのCDは再生できない場合があります。
- 直接音楽ファイルを記録したCD(MP3ディスクやWMAディスク等)は再生できません。

リピート演奏

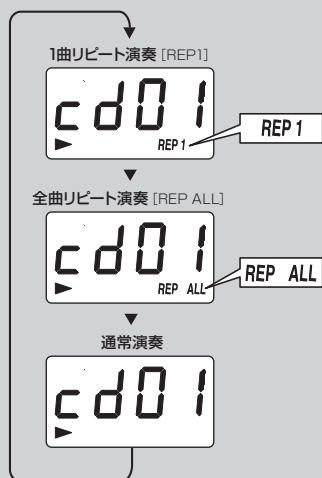
演奏中/一時停止中/停止中に

 を押して再生モードを選ぶ。
リピート

- 押すごとに再生モードが変わります。



(ディスプレイ)








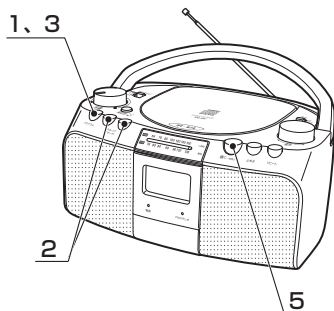
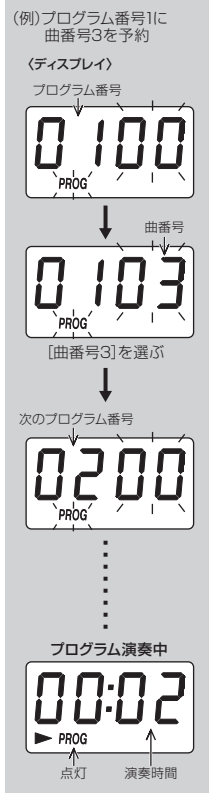
- 1曲リピート演奏 [REP1] …………… お好みの1曲を繰り返し演奏します。
- 全曲リピート演奏 [REP ALL] …… 全曲を繰り返し演奏します。

CDを聴く






プログラム演奏 (お好みの曲を予約順に聴く)

停止中に

1.  を押す。
プログラム
2.   でお好みの曲を選ぶ。
スキップ / サーチ
3.  を押す。
プログラム
 - 予約が確定され、次のプログラム番号が表示されます。
4. 上記2～3の操作を繰り返し、予約していく。
 - 最大20曲まで予約できます。
5.  を押す。
聴く / 一時停止
 - プログラム演奏が始まります。
 - プログラム演奏が終わると自動停止します。






予約したプログラム内容を変更する

- プログラム演奏中に**
1.  を押す。
止める
 2.  で、
プログラム
変更したいプログラム番号を選ぶ。
 3.   で、
スキップ / サーチ
お好みの曲に変更し、 を押す。
聴く / 一時停止
(プログラム番号1からプログラム演奏が始まります。)




プログラム内容を 確認する

プログラム演奏を 終了する

プログラム演奏中に

1.  を押す。 2.  を押す。
止める プログラム
(押すたびに予約順にプログラム内容が表示されます。)
※再びプログラム演奏に戻るには
 を押す。
聴く / 一時停止

プログラム演奏中に

-  を押す。(プログラム内容は保持)
止める
※保持されたプログラム内容を再度演奏する
場合は、 を押す。
聴く / 一時停止
※  を2回押すと、プログラム演奏が
止める
解除されます。

ラジオを聴く

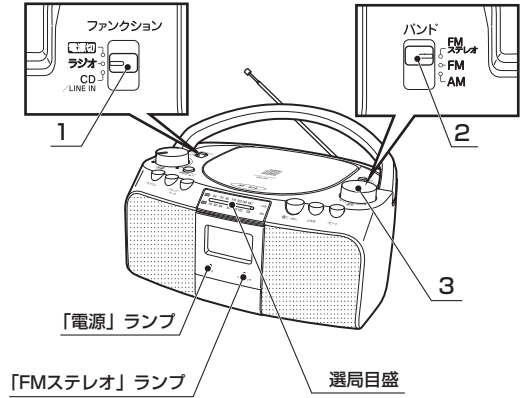
1. 「ファンクション」スイッチを[ラジオ]にする。

- 「電源」ランプが点灯します。

2. 「バンド」スイッチで[AM] [FM] [FMステレオ]のいずれかを選ぶ。

3. 「選局」ダイヤルでお好みの局を選ぶ。

- 選局目盛を目安に選局してください。
- FMステレオ受信時は、「FMステレオ」ランプが点灯します。

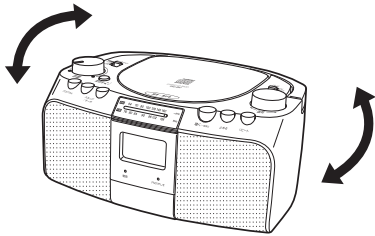


設置場所について

ラジオをきれいな音でお楽しみになるには、なるべく窓ぎわの電波の届きやすいところに置いてご使用ください。

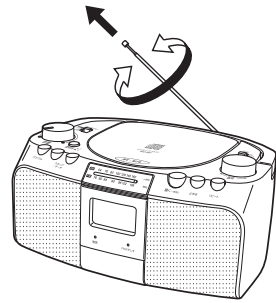
AM放送の場合

本体を動かし、もっとも良く聴こえるところに設置してください。
(アンテナは本体内蔵)



FM放送の場合

アンテナを伸ばし、最も良く聴こえる方向に向けてください。



音量を調節する



「音量」ダイヤルを回す。

ラジオを切る

「ファンクション」スイッチを
[電源切]にする。

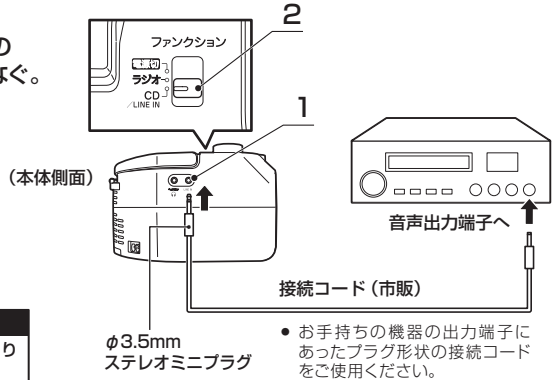
FMステレオ放送で
雑音が多い場合

「バンド」スイッチで[FM]に切り換える。
(ステレオにはなりません、聴こえやすくなる場合があります。)

外部音声機器を聴く

■外部音声機器をつないで、本機をスピーカーとして使用することができます。

1. 本体の「LINE IN」端子と外部音声機器の音声出力端子を接続コード(市販)でつなぐ。
2. 「ファンクション」スイッチを [LINE IN] にする。
 - 「電源」ランプが点灯します。
3. 外部音声機器を再生する。



ご注意

外部音声機器を聴くとき以外は、接続コードを本体から取り外してください。

音量に過不足を感じるとき

本機と外部音声機器の両方の音量を調節する。
※外部音声機器の出力が小さいと、音がうまく聞こえない場合があります。

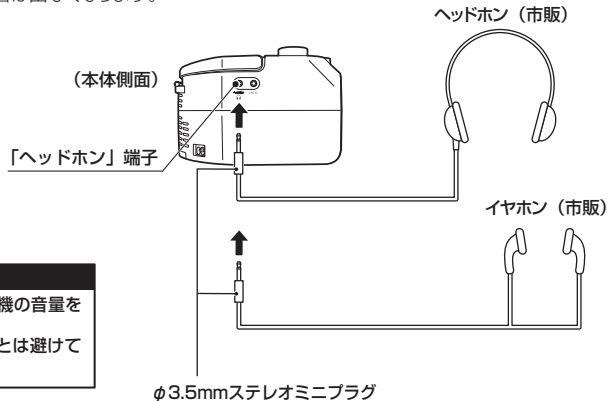
外部演奏を止める

1. 外部音声機器を止める。
2. 本機の「ファンクション」スイッチを [電源切] にする。

市販のヘッドホン/イヤホンで聴く

■市販のヘッドホン/イヤホンの本機につないで、演奏を聴くことができます。

※ヘッドホン/イヤホンをつなぐと、スピーカーから音は出なくなります。



ご注意

- ヘッドホン/イヤホンの本機につなぐときは、本機の音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くことは避けてください。

お手入れのしかた

※必ず「ファンクション」スイッチを[電源切]にして電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

本体のお手入れ

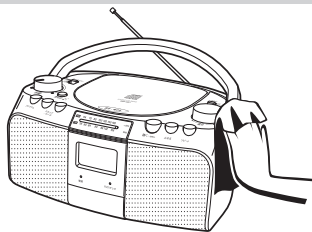
乾いた布などで拭いてください。

汚れがひどいとき

中性洗剤をうすめて布にふくませ、よく絞ってから汚れを拭き取ってください。その後、から拭きしてください。

ご注意

ベンジンやアルコール、シンナーなどでは拭かないでください。
本体を傷める原因となります。



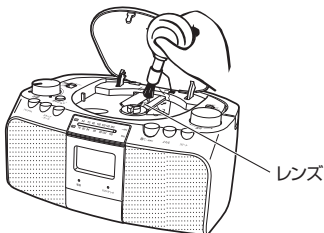
レンズのお手入れ

ごみやほこりがついた場合

レンズを市販のプロアーで2~3回吹き、プロアー先端のブラシでごみやほこりをはき出します。最後にもう一度レンズをプロアーで吹いてください。

ご注意

レンズには指紋や汚れをつけないようにしてください。



仕様

受信周波数	FM:76~108MHz AM:522~1629kHz	電池持続時間 (アルカリ乾電池使用時)	ラジオ受信時:約80時間 CD再生時:約12時間
アンテナ	FM:ロッドアンテナ AM:フェライトバーアンテナ内蔵	消費電力	11W
スピーカー	7.7cm(8Ω)×2個	最大外形寸法	(ハンドルを立てた時) 約252(幅)×203(奥行)×200(高さ)mm (ハンドル収納時) 約252(幅)×203(奥行)×127(高さ)mm
入力端子	LINE IN 端子(φ3.5mm)×1	質量	約1.4kg(乾電池含まず)
出力端子	ヘッドホン端子(φ3.5mm)×1	電源コードの長さ	約1.7m
実用最大出力	1W+1W	付属品	電源コード、取扱説明書(本書:保証書付)
電源	2電源方式 ●AC100V 50/60Hz(付属電源コード使用時) ●DC9V 単2形アルカリ乾電池×6本(別売)		

※本機の仕様及び外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

※電池持続時間は、乾電池の種類や使用状況(音量等)、環境によって異なることがあります。

故障かな？と思われたときは

症状	チェックポイント	処置のしかた
電源が入らない。	電源コードが抜けていませんか？	正しく接続してください。
	乾電池は正しい方向で入っていますか？	乾電池の+-を確かめてください。
音が出ない。	ヘッドホン端子にコードが差し込まれていませんか？	コードを抜いてください。
CDの演奏が始まらない。 CDが入っているのに「NoCD」と表示する。	乾電池が消耗していませんか？	新しい乾電池と交換してください。
	CDの表裏を間違えていませんか？	ラベル面を上にしてください。
	レンズが汚れていませんか？	お手入れのしかたを参考にレンズのお手入れをしてください。(P. 12参照)
	レンズに露や水滴がついていませんか？	CDを取り出してCDドアを開けたまま、1時間程置いてください。
	CDが汚れていませんか？	汚れを落としてください。
	ファイナライズ処理(通常のCDプレイヤーで再生できるようにする処理)をされていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。	
CDの音が飛ぶ。	CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。	ディスクを替えて試してください。
	強い振動を与えていませんか？	振動を与えないでください。
	CDがひどく汚れていませんか？	汚れを落としてください。
	CDに大きな傷はありませんか？	CDを替えて試してください。
ラジオに雑音が入る。	乾電池が消耗していませんか？	新しい乾電池と交換してください。
	電波の届きやすいところに置いてありますか？	設置場所を確認してください。(P. 10参照)
	テレビと同時に使用していませんか？	テレビから離してください。またはテレビの電源を切ってください。

MEMO

MEMO

アフターサービスについて

1. 保証書

- この取扱説明書には保証書が付いています。

保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は

商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。

- 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。


3. 補修用性能部品の保有期間

- CDラジオの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。

補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

愛情点検		★長年ご使用の音響機器の点検を！	
	ご使用の際このようなことはありませんか	<ul style="list-style-type: none">●電源コードや電源プラグが異常に熱い。●電源コードに深いキズや変形がある。●コゲくさい臭いがする。●その他の異常、故障がある。	ご使用中 止 このような症状の時は、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。

尚、この目的のために小泉成器株式会社及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

保証・無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った**正常な使用状態で保証期間内に故障**した場合、「**無料修理**」致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、**商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。**
3. **ご購入、ご購入品等**で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、取扱説明書の小泉成器株式会社「修理センター」へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下等による故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、落雷、水害、その他の天災地変、異常電圧による故障及び損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えた場合。
5. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様の負担となります。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または取扱説明書の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。
- ※保証期間経過後の修理について詳しくは取扱説明書の「アフターサービスについて」をご覧ください。

CDラジオ

保証書 持込修理

本書は、本書記載内容（裏面記載）で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

型番	SAD-4705		
お買い上げ年月日	年	月	日
無料修理保証期間	対象部分	期間（お買い上げ日より）	
	本	1	年
お客様	お名前	様	
	ご住所	〒 TEL	
販売店	店名・住所・電話		

★販売店の皆様へのお願い 必ず全項目をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。
小泉成器株式会社 本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06(6262)3561

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

ご意見・ご質問について

お客様相談窓口  ナビダイヤル (全国共通番号) 0570 (07) 5555

■IP電話などからご利用いただけない場合
〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06(6262)3561 FAX.06(6268)1432

修理に関するお問い合わせ

東日本修理センター  ナビダイヤル (全国共通番号) 0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合
〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL.048(718)3340 FAX.048(718)3350

西日本修理センター  ナビダイヤル (全国共通番号) 0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合
〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06(6613)3145 FAX.06(6613)3196

部品に関するお問い合わせ

部品センター  ナビダイヤル (全国共通番号) 0570 (00) 3211

■IP電話などからご利用いただけない場合
〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06(6613)3211 FAX.06(6613)3299

小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号
TEL.06(6262)3561 FAX.06(6268)1432

受付時間：平日9:00~17:30
(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2018年5月現在(所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)